

栃木県生活協同組合連合会 2022年11月度の活動報告

<p>◇機関会議等</p> <p>7日 第4回くらし部会 8日 第3回常務理事会</p> <p>◇ネットワーク関連</p> <p>1日-30日 とちぎ消費者カレッジ(宇都宮大学配信) 2日 食の安全に関するリスクコミュニケーション 9日 とちぎ消費者カレッジ(國學院大學栃木高校) 15日 とちぎ消費者ネットワーク幹事会 16日 とちぎ消費者カレッジ(作新学院大学女子短大) 29日 とちぎ消費者カレッジ(那須看護専門学校) 30日 とちぎ消費者カレッジ(作新学院大学)</p> <p>◇行政関連</p> <p>7日 いちご研究所来訪 9日 食の安全セミナー 13日 第17回うつのみや食育フェア 18日 みどりの食料システム戦略学習会</p> <p>◇防災・被災者支援</p> <p>21日 栃木県・栃木市総合防災訓練会議</p>	<p>◇その他</p> <p>5日 生協総研 地域における協同のあり方 9日 協同組合連絡会 10日 協同組合連絡会 学習会 11日 協働労働推進大会 21日 ヤングケアラーの現状 学習会 22日 中央地連運営委員会 22日 年末調整説明会 24日 ユニバーサル就労ネットワーク事例検討会議 28日 // 27日 母親大会 29日 日本生協連地域社会づくり交流会</p> <p>〈適格消費者団体NPO法人とちぎ消費者リッラの活動〉</p> <p>1日 消費者問題学習会 7日 自治会連合会、弁護士110番説明 7、8日 110番チラシ宇都宮市1万7千自治体分封入 11日 110番チラシ、宇都宮自治体連合へ発送 15日 事務局会議 29日 事例検討委員会</p>
--	--

以上

県連活動

1. 機関会議等

● 11月7日(月) 2022年度第3回くらし部会

11月13日(日)に開催予定の、うつのみや食育フェアについて、出展内容や当日のスケジュール等、最終確認を行いました。前回2019年10月依頼の3年ぶりの開催となります。また、環境・生物多様性の学習会を2月に開催することとし、内容について検討しました。

● 11月8日(火) 2022年度第3回常務理事会

- 【議決事項】 第1号議案 NPO法人ユニバーサル就労ネットワークとちぎ理事就任専決承認の件
 第2号議案 「浜矩子さん経済講演会」後援依頼 承認の件
 第3号議案 「会費規程」一部改定の件
 第4号議案 「賛助会員基準」一部改定の件
 第5号議案 2023年度会費、免除申請の件(宇大生協)
 第6号議案 第4回定例理事会(12/06 15:30-16:00) 附議議案決定の件

【協議事項】 (1) 12月理事会当日運営について(ガバナンス学習会)

- 【報告交流事項】 (1) 月度の定例報告及び決算報告(10月決算)
 (2) 会員活動と経営状況などの交流(口頭報告)
 (3) 協同組合交流会(11/10)
 (4) 下野新聞新春トップインタビュー

2. 行政関連

● 11月9日(水) 令和4年度(2022)年度 とちぎ食品安全セミナー

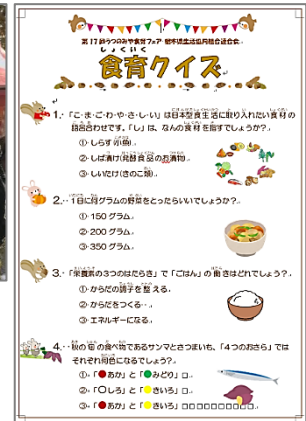
栃木県では、深刻な食中毒が毎年のように発生しています。毒キノコによる食中毒の発生状況と、食中毒の防止方法について伺いました。

- 基調講演: そのキノコ、本当に食べて大丈夫ですか?
～食品衛生学の観点から毒キノコを学ぶ～
講師: 栃木県立博物館 研究員 山本 航平 氏



● 11月13日(日) 第17回うつつのみや食育フェア

今年度は出展者上限を 50 ブースとし、入場時に手指消毒や検温を行っての実施となりました。2019年以來、3年ぶりの実開催ということもあり、開場前から大勢が訪れ、時間を15分早めて開始となりました。人の波が絶えず、食事バランスや朝食の大切さをテーマに実施した食育クイズは行列ができる程盛況で、昼を待たずに終了。午後はパネル展示を行い、生協の食育の取り組みを紹介しました。



各生協の展示テーマ	
それぞれのテーマに基づき、取り組みの展示とクイズを行いました。(クイズは380名分)	
よつ葉生協	こまごわやさしい (献立食材のキーワード)
生活クラブ生協	栄養バランスのとれた食生活の推進
とちぎコープ生協	「ごはん」でおはよう! ~栄養バランスのとれた朝食の推進~
パルシステム茨城 栃木	「4つのお皿」バランスの良い食事をとろう!

展示パネル



よつ葉生協



生活クラブ



とちぎコープ



パルシステム

● 11月18日(金) 関東農政局みどりの食料システム戦略勉強会(第1回)

近年、気候変動の影響や生物多様性の低下、SDGsを始めとする環境への意識の高まりを受け、社会全体を持続可能なものにしていくことが求められています。農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現するため、みどりの食料システム戦略を推進しています。今回、受講者の取組の参考となることを目的に、第1回目の勉強会が開催されました。

- 講義内容: (1) カーボンクレジットについて (2) 見える化実証事業について

講師: 農林水産省 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ

地球温暖化対策調整・推進班 小田課長補佐/地域温暖化対策班 中島係長

3. その他

● 11月1日(火) 適格消費者団体NPO法人とちぎ消費者リンク、消費者問題学習会(参加者47名)

消費者に向けて、消費者問題の啓発を目的に学習会を開催しました。適格消費者団体では、消費者保護の観点から、特にトラブル事例が報告された事業者等の契約(書)を検討し、消費者契約法に基づいて、消費者の利益を害し、不当ないし不適切と思われる記載がある場合には、業者に対して是正のための「申し入れ」を行います。



今まで、とちぎ消費者リンクで行った申し入れの事例を基に、消費者が気を付けるべき点について等お話を伺いました。

- 演題:注意すべき消費者トラブル～とちぎ消費者リンクで扱ったケースを素材にして～
講師:弁護士 阿部 健一 氏・弁護士 島菌 佐紀 氏

● 11月10日(木) 協同組合意見交換会 9団体15名参加

参加団体

栃木県森林組合連合会、栃木県漁業協同組合連合会、こくみん共済 coop、栃木県労働者福祉協議会、中央労働金庫 栃木県本部、農林中央金庫宇都宮支店、全国共済農業協同組合連合会栃木県本部、栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業協同組合中央会(JA 栃木女性会)、栃木県生活協同組合連合会

県内の協同組合10団体が集まり、学習と意見交換会を行いました。2019年以來の開催となる今回は、地域社会を取り巻く諸情勢に関する学習会と題し、子どもの貧困についての現状や課題を学ぶ機会としました。

- 地域社会を取り巻く諸情勢に関する学習会

テーマ:子どもの貧困の現状について

講師:NPO法人とちぎボランティアネットワーク 理事長 矢野 正弘 氏

- 意見交換会(グループワーク)

テーマ:子どもの貧困に対する協同組合間連携の取り組みについて

● 11月22日(火) 日本生協連地連運営委員会 概要報告(議題=明朝、報告=ゴシック)

〈全体概況報告〉

1. 日本生協連10月度概況報告
2. コープ共済連2022年度事業進捗状況(コロナによる支払い増加のため、今年度の割り戻しは無し)

〈運営・組織関連報告〉

3. 第73回通常総会の主要運営事項
4. 第73回通常総会における役員選任の定数と進め方
5. 2023年度の日本生協連機関会議等の日程
6. 「2023年全国方針検討集会」の企画について (申込12/16(金)〆切)
7. 食料・農業問題検討委員会の設置と委員委嘱
理事会専門委員会として設置。食料・農業～基本法の改訂を受けての設置
2023年秋の答申に向け、委員会では5月の理事会報告の後、日生協として政府に提出。
公開学習会を全国規模でオンライン、12/15に福島大学 生源寺先生
8. 日本生協連創立75周年に向けた記念事業の準備と歴史編纂
歴史の編纂チームを作り、2021-2025年をまとめて75周年誌をまとめる。
予算は3億円。積み立てを開始する。
9. 組合員参加型キャンペーン「コープサステナブルアクション」一次案
2030生協のサステナビリティ政策を組合員さんとともに進める。若い世代が企画している。実開催とオンラインで展開。サイト、SNS→「えこりん」をキャラクターに発信。
特設サイトも設置。
10. 平和活動の状況報告と今後の取り組み
11. 2024年介護保険制度改定 生協の政策提言を活用した取り組み
提言を提出。物価高騰等の緊急支援要望も。今後、全国の会員生協・生協連で都道府県に要請書を提出する形ですすめたい。

- ・養成行動の方法…オンライン説明会を2023年1月に2回開催する
- ・2022年10月に取りまとめた「2024年介護保険制度改定への生協の政策提言」を活用し、各関係者への働きかけについて、以下の取り組みを実施する。
- ①厚労省老健局への「生協の政策提言」「物価高騰等の緊急支援要望」の提出とプレスリリースを医療福祉生協連と共同で実施。
 - ➡2022.10.24…医療福祉生協連、日生協、全国コブ福祉事業連帯機構の3者で実施済。
- ②政党・議員への要請行動と各関係団体との連携活動
 - ➡2022.11～2023.3 11月から日生協や医療福祉生協連、全国コブ福祉事業連帯機構が中心となり、要請行動を実施。
- ③全国の会員生協・都道府県生協連での首長懇談や自治体への要請行動の呼びかけを実施(2023.2～3、および2023年夏～秋頃の2段階で要請)
 - ➡進め方とスケジュール
 - ※懇談・要請行動に向けてのオンライン説明会(要請内容や自治体への対応ポイント・事例の学習会)を2023年1月に2回開催する。

〈事業関連〉

- 12. DX-CO・OPプロジェクト2022年度上期まとめと下期方針
- 13. CO・OP商品政策の見直し(2.5次案)
- 14. 「2021年度生協の経営統計」概況報告

〈管理関連〉

- 15. ならコブで発生したサイバー攻撃による重大なシステム障害状況とサイバー攻撃を想定した対策・注意喚起について
 - ・1ヶ月の影響、11/21から再開もシステムは再構築。アイテムは5割、ドライ等セットできず、虫食い状態のカタログ。SKU5割以下。注文数は昨年8割がたの受注を頂く。代金引き落としも11/7はできず、12/5より。店舗でのPOSレジは再開。
 - ・この状況を受け、注意喚起を情報プラザにUP。コロナ以降攻撃の頻度、内容が変わっている。従前の対応では防げない。システムの技術的対策(侵入させない、拡大させない、情報搾取させない)と、メールを不用意に開けない等職員への教育も重要。
- 16. 日本生協連2022年度上期決算報告(関連報告:地球クラブ2022年度上期事業報告と下期以降の対策)

地球クラブの状況…経常利益、7-9月は毎月2億前後の赤字。6月からの電力の逼迫により価格上昇。逆ザヤが続いている。会員生協に依頼し、市場連動価格に協力いただいているが、全てを価格転嫁できない。もともと債務超過を見込んでのスタートではあったが、世界的な事情により悪化。貸倒引当金を積み立て。
- 17. 日本生協連の2022年度決算見通しと割戻し
- 18. 会員規約の一部変更
- 19. 賀川記念全国生協教育基金協会の解散について

会員等への助成がコロナ禍で進まず。当初は研修の交通費に充てる予定であった。法人格が無い状態のため、基金を発展的に解消するため検討中。通常総会にて取り扱いを提案。賀川の理念を引き継ぐプログラムを立ち上げる。
- 20. 2022年度中間監査の実施報告
- 21. 「幹事監査基準」の改訂

協議事項

- 1. 第73回通常総会 第1号予定議案

「2030年ビジョン第2期中間方針(2023～2025年度)および全国生協の2023年度活動方針」一次案と総会議案論議の進め方

お知らせ…2/24、男女共同参画学習会をハイブリッドで開催。

● **11月11日(金) 協働労働推進大会開催**

大会の前半では「輝くとちぎづくり表彰」が実施されました。令和4年度と、新型コロナウイルス感染症の拡大で実施できなかった令和3年度の団体表彰が併せて行われました。最優秀賞2団体、優秀賞5団体が表彰され、事例報告がありました。後半は、NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク代表の岩井俊宗氏による記念講演「支え合う地域づくり～協働から共創へ～」が行われ、地域の課題解決に若者の力を活かした実践報告がされました。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

● 11月2日(水) 食の安全に関するリスクコミュニケーション in 県庁(参加者 52名)

(主催：栃木県、とちぎ食の安全ネットワーク/共催：宇都宮市)

食の安全の問題として、食品添加物やゲノム編集食品の流通等、不安を感じている方も多いと思います。現在流通している食品について、試験検査機関や国や県などの行政はどのようなリスク評価、リスク管理を行っているのか、行政・消費者・食品等関連事業者がともに、情報共有や意見交換をしながら理解を深めました。



パネルディスカッションでは、よつ葉生協理事長の三輪英里子氏もパネラーとなり、消費者の立場から意見を述べました。会場からも質問や、リスクコミュニケーションの内容を情報発信してほしいなどの意見があり、有意義な場となりました。

■ 基調講演:安全な食品ってなんだろう～食の安全を守るしくみを考える～

講師:国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部 部長 畝山 智香子 氏

■ 県の取組報告:栃木県における食品の安全性確保に関する取組について

報告者:栃木県保健福祉部生活衛生課食品安全推進班 班長 小島 敏

■ 意見交換会及び質疑応答 (パネルディスカッション)

コーディネーター:自治医科大学教授 中村 好一 氏

- ・国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部 部長 畝山 智香子 氏 (検査機関の立場)
- ・よつ葉生活協同組合 理事長 三輪 英理子 氏 (消費者の立場)
- ・栃木県保健福祉部生活衛生課食品安全推進班 班長 小島 敏 (行政の立場)

2. とちぎ消費者ネットワーク

● 11月15日(火) とちぎ消費者ネットワーク幹事会

今回の幹事会学習会として、とちぎ消費者サポートネット理事長 白戸幹事より「宇都宮市消費生活センターの令和3年度の相談受付状況」を伺いました。続いて、山田代表より「特商法の抜本的改正を求めえる全国連絡会」の参加について協議しました。その他、2022年度とちぎ消費者カレッジの進捗状況、および参加団体からの活動報告等を行いました。

● とちぎ消費者カレッジ開催報告

日程	開催校	演題	講師	人数
11/1(火) ～11/30(水)配信	宇都宮大学	知って防ごう!!スマホ・インターネットの消費者トラブル～今、若者がねらわれています!～	弁護士 島菌 佐紀 氏	114名
11月9日(水)	國學院大學 栃木高等学校	消費者デビュー講座	弁護士 小倉 崇徳 氏	249名
11月16日(水)	作新学院大学 女子短期大学	新成人の契約 ネットトラブルと契約 誰も教えてくれない、お金の本当の事	消費生活アドバイザー 鷺見 恵美子 氏	108名
11月29日(火)	那須看護専門学校	あなたが主役!! あなたの行動で消費者市民社会の実現を!!	弁護士 山口益弘 氏	37名
11月30日(水)	作新学院大学	インターネット時代を拓く若者の玉手箱 ～大学生が巻込まれがちなネットトラブル～	とちぎ消費者ネットワーク 代表 山田 英郎 氏	42名

防災・被災者支援

● 11月21日(月)令和4(2022)年度栃木県・栃木市総合防災訓練に係る第3回全体会

12月11日(日)に、3年ぶりに開催される総合防災訓練の全体会議が開催されました。

議題 (1)実施細目及び駐車場等(2)入退場経路(3)会場アナウンス計画(4)アンケート(案)

栃木県生協連 2022年12月度、2023年1月度の活動予定

2022年11月28日(月)
栃木県生活協同組合連合会

2022年12月度予定	
1日(木)	学習会・難民支援の現状を知る MCA 防災無線訓練
5日(月)	食と農を考えるフォーラム 消費者契約トラブル110番
6日(火)	2022年度第4回理事会 生協のガバナンス学習会 勤労者福祉センター50周年記念祝賀会
7日(水)	とちぎ消費者カレッジ(國學院大學栃木短期大學)
8日(木)	とちぎ消費者カレッジ(栃木県農業大学校) フランス・デンマークの協同思想から学ぶ(オンライン)
11日(日)	栃木県・栃木市総合防災訓練
13日(火)	とちぎ消費者カレッジ(宇都宮中央女子高中央高校) 適格消費者団体NPO法人とちぎ消費者リンク事務局会議
14日(水)	とちぎ消費者カレッジ(白鷗大學)
15日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
16日(金)	日本生協連中央地連大規模災害対策協議会
20日(火)	適格消費者団体NPO法人とちぎ消費者リンク理事会
26日(月)	とちぎコープ来訪
29日(土)	適格消費者団体NPO法人とちぎ消費者リンク検討委員会
2023年1月度予定	
4日(水)	宇都宮市賀詞交歓会、小山市賀詞交歓会
6日(土)	栃木県 県民生活部くらし安全安心課、保健福祉部 訪問 JA 中央会訪問
10日(火)	第4回常務理事会
11日(水)	日本生協連方針検討会議1日目 日本生協連賀詞交換会
12日(木)	日本生協連方針検討会議2日目
17日(火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
24日(火)	日本生協連中央地連運営委員会、県連活動推進会議 高等学校向け消費者カレッジ説明会